

2027年度 総合政策学部・環境情報学部 総合型選抜  
「アドミッションズ・オフィスによる自由応募入試」(AO入試)における変更点について

総合政策学部と環境情報学部では、ドイツ語またはフランス語にて研究を行うレベルに値する言語能力を持った者を歓迎します。先に予告したとおり、2027年度 総合政策学部・環境情報学部「アドミッションズ・オフィスによる自由応募入試」(AO入試)より、多言語能力評価(ドイツ語またはフランス語)を導入します。

詳細に関しては、2026年5月中旬頃に公開予定の募集要項をご確認ください。

多言語能力(ドイツ語またはフランス語)を有し、受験時に多言語能力評価を希望する場合は、出願時に「多言語能力評価」に申請することにより、その能力が評価対象となります。

具体的には、書類審査および面接において、入学後の構想を、選択した言語(ドイツ語またはフランス語)で表現できる能力を評価し、その結果を通常の審査対象要素に加えて合否を判断します。提出される言語能力試験の証明書のみで判断することはありません。

(評価方法)

**一次審査(書類審査)**

多言語能力評価を希望する場合には、出願時に追加で以下に掲げる書類の提出を求めます。これらの書類に基づいて審査します。

- ・多言語(ドイツ語またはフランス語)を用いた入学後の構想
- ・多言語能力に係る証明書(例:ドイツ語については、ゲーテ・インスティトゥート検定試験、TestDaf、ドイツ語技能検定試験、オーストリア政府公認ドイツ語能検定試験、など。フランス語については、DELF/DALF、実用フランス語技能検定試験、TCF、など。いずれも出願締切日から遡って2年以内に取得したもの。)

**二次審査(面接)**

面接では、選択した言語(ドイツ語またはフランス語)を用いて、入学後の構想を口頭で表現できる能力を審査します。

<総合政策学部・環境情報学部の総合型選抜に関する問合せ先>

慶應義塾大学湘南藤沢事務室

アドミッションズ・オフィス 電話:0466-49-3407

Email: ao-request@sfc.keio.ac.jp